



東京新都心ロータリークラブ

【お互いを尊重し、楽しく豊かなロータリーライフを送りましょう】

Shintoshin Weekly

〒160-0023 新宿区西新宿2-7-2 ハイアットリージェンシー 東京11階

TEL : 03-3340-3555 FAX : 03-3340-3554

HP : <http://www.tokyo-shintoshin-rc.org> E-mail : shintoshin-rc@par.odn.ne.jp

会長 山口昭夫 幹事 石川佳照 創立 : 1988年9月21日

「Sustainability（持続可能）からRegeneration（再生）へ ～Zero Waste Designの実現に向けて～」

石坂産業株式会社 代表取締役 石坂 典子 氏

石坂産業は、創業56周年を迎える産業廃棄物の中間処理会社で、SDGsという言葉のない時代から、「どこかの企業の廃棄物をどこかの企業の資源にする」活動を続けてきた。今は、環境教育や有機農業も行っている。

主に扱うのは、世界ではほとんどが埋め立てされている建設系廃棄物で、その再資源化に取り組み、減量化・リサイクル率98%を達成している。

「Zero Waste Design」が必要な理由は、世界人口の増加とともに廃棄物が加速度的に増え、2050年には現在の2倍の廃棄物が地球を覆うと予測されているからだ。日本の循環利用率（再利用・再生利用率）はわずか16%。枯渇性資源を掘り尽くすのではなく、既に地表にあるものを繰り返し利用して、廃棄物を残さないように循環させることを誰かがやらなければならない。

近年、直線型から、循環型の経済にしていこうという流れが加速している。モノは消費され、いつか不要になる。

私たちは20年後、30年後に向けてどんなモノを作り、どんなモノを残していくのか。廃棄されることを想定した「ゴミにならない素材開発・構造設計」が必要だ。

AmazonとGlobal Optimismが立ち上げた2040年までにネットゼロカーボン（温室効果ガスの排出量実質ゼロ）の達成を目標とするアグレッシブな国際イニシアチブThe Climate Pledge（気候変動対策に関する誓約）に国内企業として最初に署名した。オール電化に近い工場の全電力も再生可能エネルギーに切り替えた。

さらに、太陽光や地中熱、雨水、風力など、あらゆる自然なものを活用して循環させることにも挑戦している。

Sustainability（持続可能）に留まらずRegeneration（再生）させて、未来の世代に今よりも良い地球環境を残したい。



【プロフィール】

石坂産業株式会社 代表取締役 石坂 典子（いしざか のりこ）

高校卒業後、デザイナーを目指し米国の大学へ留学。1992年、父親が創業した石坂産業に入社。

「廃棄物ゼロの社会をつくりたい」という創業の強い想いと、マスコミの誤った報道による風評被害で危機に瀕した会社を守りたいと、2002年に社長に就任。

地域に愛される企業となるため、プラントの全天候型化、ISO 7種統合マネジメントシステム導入、国内はもとより海外40ヶ国以上からの視察を受け入れるなど、数々の改革を断行。

会社周辺の東京ドーム4個分以上の里山を再生した環境教育の場「三富今昔村」には年間6万人が訪れる。2020年に新たなビジョン「Zero Waste Design」を掲げ、ゴミをゴミにしない社会の実現を目指す。

「KAIKA Awards 2019」「2020年 日本経営品質賞」「2021年 企業広報経営者賞」「2022年 ニッポン新事業創出大賞グローバル部門最優秀賞（経済産業大臣賞）」受賞。

2023年2月15日(水) 第1538回例会

「Sustainability(持続可能)からRegeneration(再生)へ～
Zero Waste Designの実現に向けて～」

石坂産業株式会社 代表取締役 石坂 典子 氏

(紹介者 吉成 泰 会員)

次回のプログラム

2023年3月1日(水) 第1539回例会

「イニシエーションスピーチ」

有田佳史会員・大西元博会員・渡辺真一会員